

実施報告

恵庭市立恵み野小学校

* 学級数 11 * 児童数 221

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道有朋高等学校	教諭	花輪俊秀	地学

【ねらい】 小学校の地学分野の各単元における教材や指導方法の工夫について学ぶとともに、児童に理科の授業の面白さを実感させる授業展開について理解を深める。

【日時】 8月23日（水） 14時30分～15時30分

【場所】 恵庭市立恵み野小学校理科室

【参加者】 15名

【内容】 ・「月と星」（第4学年）授業展開例の紹介
・「月と太陽」（第6学年）授業展開例の紹介
・「太陽と地面の様子」（第3学年）教材の作成



【本事業の成果を活用した授業の改善】

本校では、支援員から学んだことを踏まえ、「理解を深める教材の工夫」に取り組んだ。

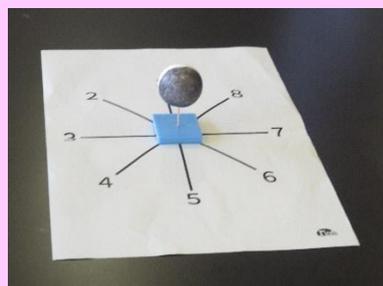
1 月の満ち欠けを調べる実験

(1) 指導の工夫

- ・月の満ち欠けを調べる実験では、暗室で、月、太陽に見立てたボール、光源を用意し、観察する人（地球）と光源（太陽）を固定し、ボールを移動することで、ボールの見え方の違いに気付かせる。

(2) 授業での児童の様子

- ・児童が実際にボールを持ち、動かして確認することで、太陽・地球の位置関係による月の見え方の違いについて実感をもって理解することができた。
- ・月の見え方や分かったこと、気付いたことをシートにまとめ、交流したことにより、特に新月と満月の違いについて理解を深めることができた。



2 太陽の動きを調べる実験

(1) 指導の工夫

- ・簡単な日時計を作成・活用することにより、日陰ができる場所や日陰の位置と太陽の関係について話し合うよう促す。

(2) 授業での児童の様子

- ・簡単な日時計を作成・活用したことにより、児童は楽しみながら、影の動きと太陽の位置関係の変化を調べ、太陽の動きについて理解を深めることができた。
- ・影の動く様子と太陽の位置の変化を比べて、太陽が東の方から西の方へ動いていることに気付くことができた。

